有限会社 クラール 殿

発行日: 2011年 12月 21日

不具合整理No. 43MD-12-004

協力工場 不良品連絡書

(株) 鈴

木

再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を 提出して下さい。



木記			指定回答日:2011年 12月 2	27日	12.12.21 11.12.21 11.12.21			
品	义	番	101CFP-450-13F	不良内容				
入	品	名	EN-33 ハウジング	ハウジングキャリア部に赤いテープが貼り付けてある。				
	Пy	ソトNo	111213-2-B-01	以前にもEN-43で発生し	ています。			
	発	生日	2011年 12月 20日					
	不且	良数量	1リール		→			
	不	良率		処 置 返却				
			認内容		返却品の処置 (数量明記)			
		沒	到資料を物施配を物ですす。	6				
		2. 発:	生原因	4. 流出原因				
協								
カ	是				=			
エ	正							
場	処	3. 発:	生防止対策	5. 流出防止対策				
記	置	=						
入					,			
			実施日: 年 月 日	実施日:	年 月 日 			

実施日:

実施日:

在庫品仕掛品の確認

在庫品

認

仕掛品 0

回答日: 2011年12月22日 承 認 調 作 成

標準類改訂 有 ・ (無) (対策後、11123-2-カーローの6~111227-2-カーローの6の計5ロットにあいて

同不具合無しの為、有効性有りと判断致します。 (株) 鈴木 確

承 認 調 近藤 12. 2.21

Rev: A



査

竹花 12.2.21 智治

確認者

(株)鈴木

MQM-10010-4

品質教育訓練実施報告書





教育·	訓結內	米キオ	コロヘンナ										
	可加州中	からか	^工 具合流出防止				作成日		2011年12月	月 22 日			
実施	年月日	2011 年	12月2	2月22日				間	0.5 時間				
主 催(有)クラール使用テキスト作業手順書 (赤テープの使用につ)					L			師	菅原				
					いて)		場	所	(有)ク	/ラール			
<配付	寸部署>	<教育内容>					T	(氏名が特定できれば別紙添付も可					
		士二	<i>d</i> ≈111 → E	t A as M.	at make to s				参加者	者氏名			
赤テープ付着品流出不具合の件を踏まえ 赤テープは原則禁止、但し、やむを得ず利用								富剂	睪 久子				
		する場合は別紙、作						松	本 由香				
		について) に則り利			, , , ,	/ 12/13		風	間 麻里子				
								清	水 明今美				
								山	幸 ひろみ				
								明	石 愛				
								徳記	武 かおり				
								真島 千恵子					
	l							宮下 智栄子					
								宮石	本 綾子				
								ЩГ	コ 久美子				
								矢	コ 玲子				
										合計	12		
									不参加		12		
No.		効果の確認方法			評価結果	1			不参加		12		
No. 1	筆記試			1	評価結果	3			不参加		12		
	筆記試レポー	験							不参加		12		
1		験 ト提出		1	2	3			不参加		12		
1 2 3 4	レポー 出来栄 質疑応	験 ト提出 え確認 答		1 1	2 2	3			不参加		12		
1 2 3 4 5	レポー 出来栄質疑応る	験 ト提出 え確認 答 (1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	3 3 3			不参加		12		
1 2 3 4 5 1:完	レポー 出来栄 質疑応 その他 全修得(5	験 ト提出 え確認 答 (里解) 2:修得(理解) 3 : 🖡	1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	3 3 3 3				者氏名 合計			
1 2 3 4 5 1:完	レポー 出来栄 質疑応 その他 全修得(5 A, Bの(験 ト提出 え確認 答 (里解) 2:修得(理解 可れかに○をする。		1 1 1 1 1 1 乗教育が	2 2 2 2 2 2	3 3 3 3	(a)	不参加:	者氏名 合計			
1 2 3 4 5 1:完 注1:/x	レポー 出来栄 質疑応 その他 全修得(T A, B のf (a), (b)	験 ト提出 え確認 答 (理解) 2:修得(理解 可れかに○をする。)は、有り・無しの) 3 : 🖡	1 1 1 1 1 数育が 社内講	2 2 2 2 2 2 必要	3 3 3 3 3	(a			者氏名 合計 ご(有り・			
1 2 3 4 5 1:完 注1:4	レポー 出来栄 質疑応 その他 全修得(E A, Bのf (a), (b)	験 ト提出 え確認 答 (里解) 2:修得(理解 可れかに○をする。	3 : P	1 1 1 1 1 乗教育が 社内講	2 2 2 2 2 必要 習(研修	3 3 3 3 3 3 \$ \$)	社内資格認定	者氏名 合計 ご(有り・	(#)		

有限会	会社 ク	ラール			赤テープの使用に	ついて	〈制定日〉 2011年12月22	版数		1
作業手順書				程>	検査	〈制定部署〉	頁数	1/1		
承 認	調査	作成	改	改定	内	容	承	- Contraction of the last of t	作	成
管	一个	(1)A	訂	3						.,,,
原	原	(層)	記	2						-
			録	1						*

- ・検査製品への赤テープを始め、テープ、付箋紙、等の使用は<u>原則禁止</u>とする。
- ・やむを得ず、赤テープを使用する際、 (突発的な不良がリール内に数ヵ所発生し、発生箇所数を把握したい時等)は、 下記手順に則る事。
- ① 検査員が突発的な不良がリール内に1ヵ所以上ある事を確認の上、工場長(菅原)へ連絡。
- ② 工場長は赤テープを常に管理し、上記連絡により 検査員へ1シート(10切の赤テープ付着)単位で配布する。
- ③ 検査終了後、検査員より赤テープを回収し、 その際シート数、1シートに10切の赤テープがある事を確認し、 「赤テープ管理書」にて出入の整合を確認し、工場長が押印の上 管理。又、押印確認済み製品のみ出荷する。